プログラミング/コーディングは知識が必要となります。
メーカー車種により作業手順が異なります。
作業手順はご回答出来かねます事を、ご了承の上自己責任で行って下さい。

MaxiSys Proを使用したBMW CIPプログラミングガイド

1.BMWプログラミングノート

- AutelまたはBMW認定のバッテリ充電器を車両に接続し、バッテリ電圧が13V～14Vの間であることを確認します。
- エアコン、ヘッドランプ、ターンシグナルランプ、ワイパーなどの電気機器をすべてオフにする。不安定な電流はプログラミングを中止する。
- ワイパーやクリーニングシステムをオフにします。プログラミング中にワイパーが作動している可能性がありますので、十分なスペースがあることを確認してください。
- プログラミングする前に、すべてのコントロールユニットが正しく取り付けられ、機能していることを確認してください。
- プログラミングする前に車両のDTCをトラブルシューティングまたはクリアする。
- 最初に正しい日付を設定してください。それは、プログラミングおよびコーディング中に制御ユニットに記録される。
- MaxiSys Proの指示がない限り、プログラミングおよびコーディング中にイグニッションをオフにしないでください。
- 窓、ドア、ステアリングホイール、シート、ボタン、およびその他の調整ノブなど、車両の一部を起動または移動しないでください。そうしないと、プログラミングが中断されることがあります。

注：この文書はBMW V3.00に基づいて構築されています。 BMW V3.00以降のバージョンにのみ適用されます。

2.CIPメインインターフェイスへの入力

図2.1に示すように、'CIP（Coding、Individualisation、Programming）'をタップします。

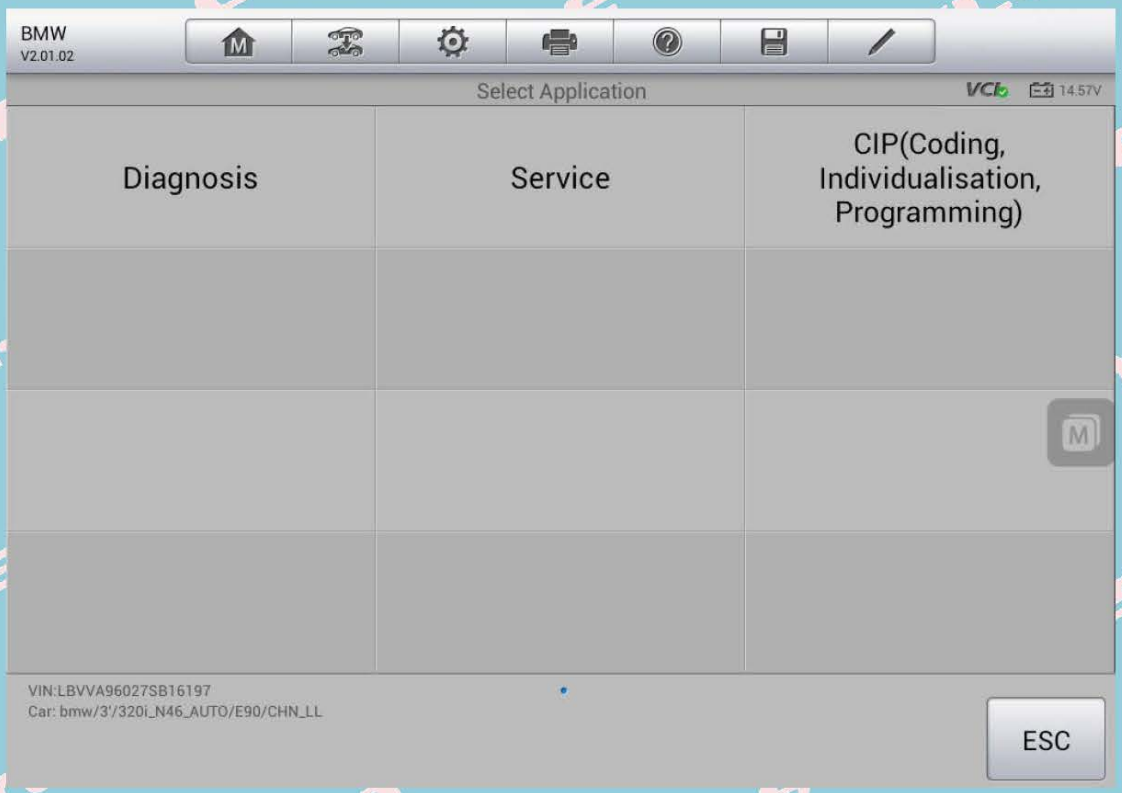


図2.1

初めてMaxiSys ProでCIP機能を実行した車両については、2.1「CIPの初期入力」を参照してください。

以前のMaxiSys ProでCIP機能を実行した車両では、MaxiSys Proは前のセッションを自動的に保存し、保存されたセッションを使用するかどうかを確認するプロンプトが表示されます。

詳細については、2.2 CIPの再入力を参照してください。

注意：MaxiSys Proは最大5台の車両セッションしか保存できません。 5つ以上のセッションがある場合、不要なものを削除するように指示するメッセージが表示されます。

図2.10に示すように、2.2 CIPの再入力を参照してください。

2.1 CIPの初期設定

MaxiSys　Proは現在の車両構成情報をCASから読み込み、　初めてCIPに入るとLM / FRMとなるので、CASとLM / FRMはできません 同時に交換されました。

車両の情報は図2.2のようになります。

リストをスクロールして上下にスクロールすると、詳細情報が表示されま

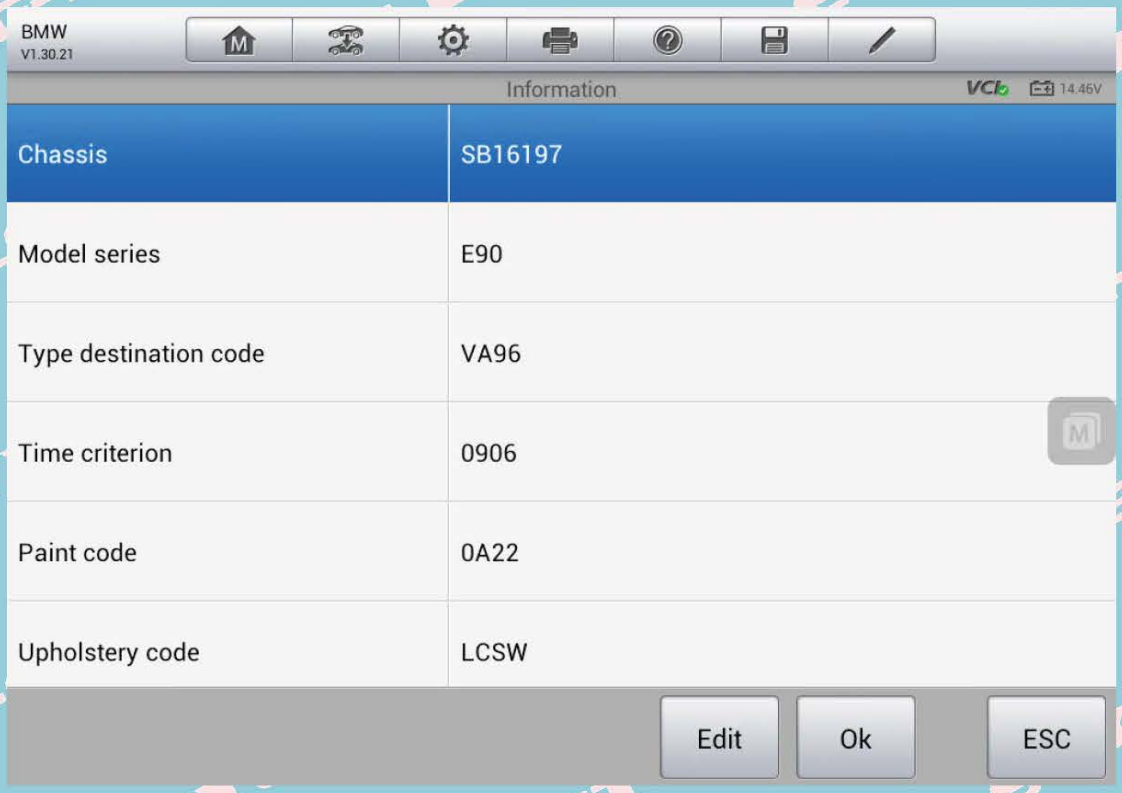


図2.2

'Edit'をタップして車両構成情報を修正すると、関連するインタフェースが図2.3のように表示されます。 リストをスクロールして上下にスクロールすると、詳細情報が表示されます。

注：設定情報を変更した後に車両が正常に動作しないという問題を回避するには、現在の設定情報を書き留めておくことをお勧めします。

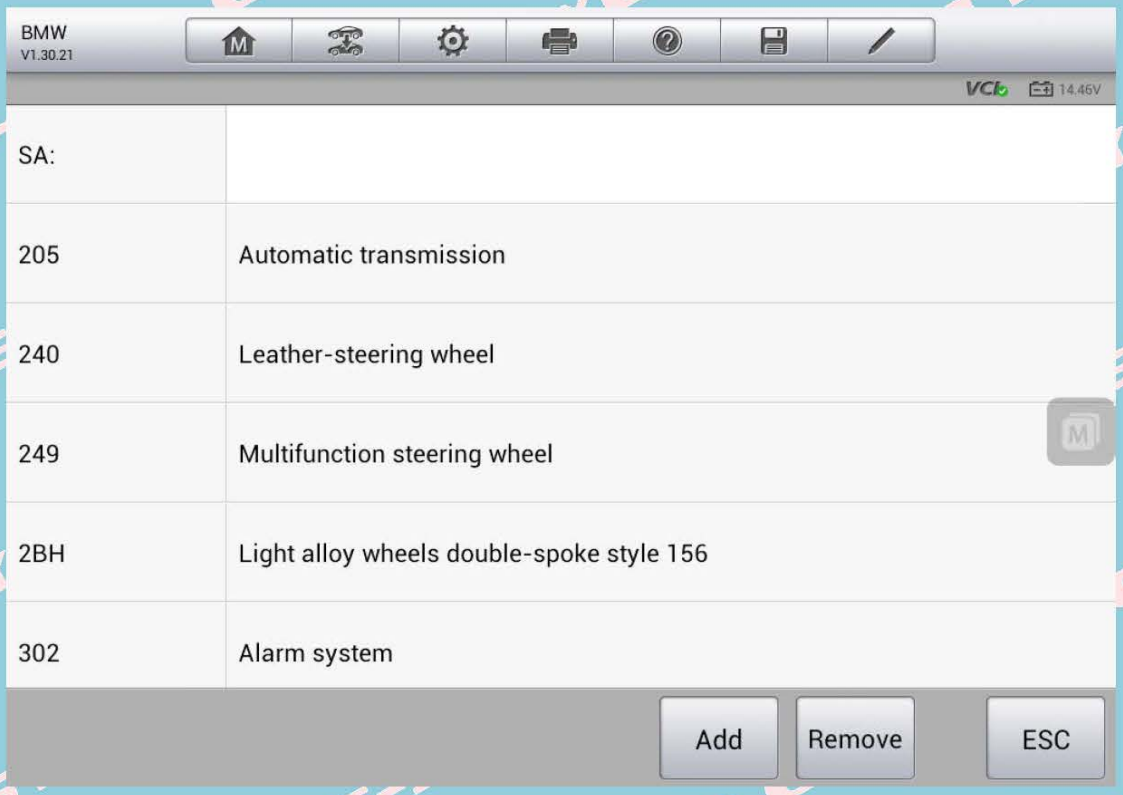


図2.3

'Add'または 'Remove'をタップして対応する操作を行い、 'ESC'をタップします。

変更された設定情報を確認するように求められます。 図2.4。

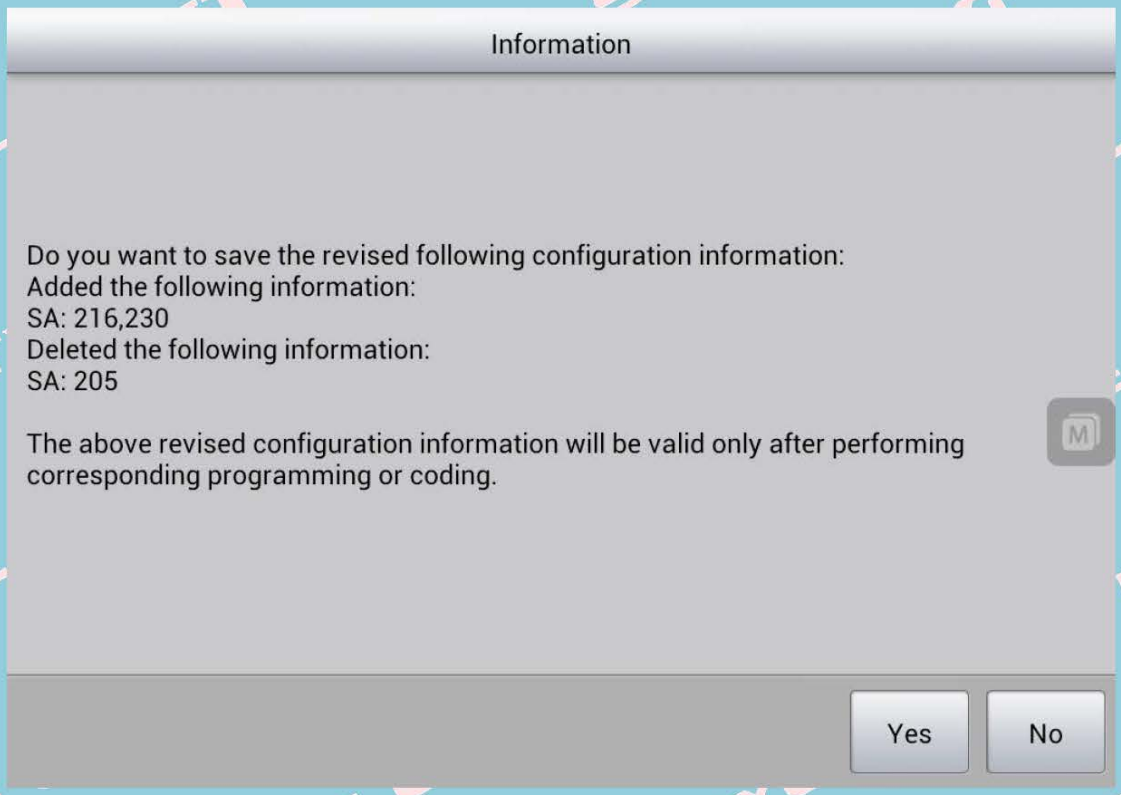


図2.4

MaxiSys Proは、図2.6に示すように、コントロールユニットが交換されたかどうかを確認します。
コントロールユニットが交換されている場合は、「Yes」をタップして交換したコントロールユニットを選択します。
または、「No」をタップします。

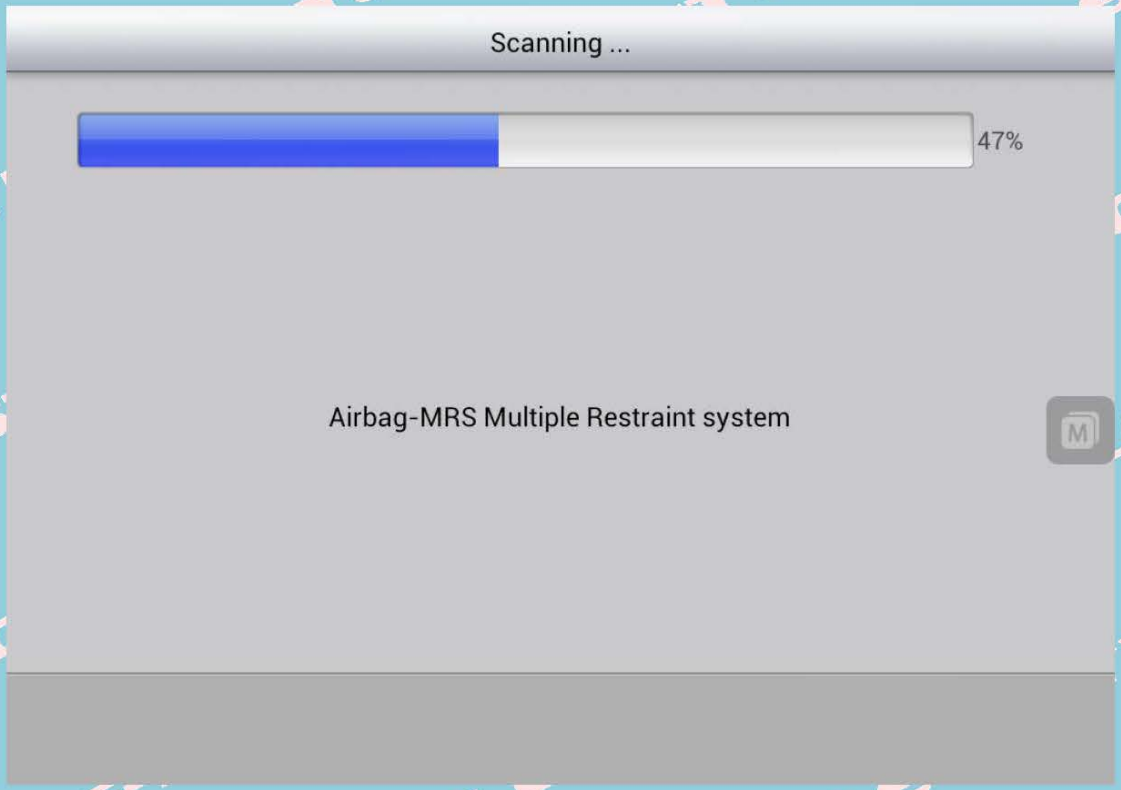


図2.5

MaxiSys　Proは、図に示すように、コントロールユニットが交換されたかどうかを確認します
図2.6　コントロールユニットが交換されている場合は、「Yes」をタップして交換したコントロールを選択します 。
 または、「いいえ」をタップします。

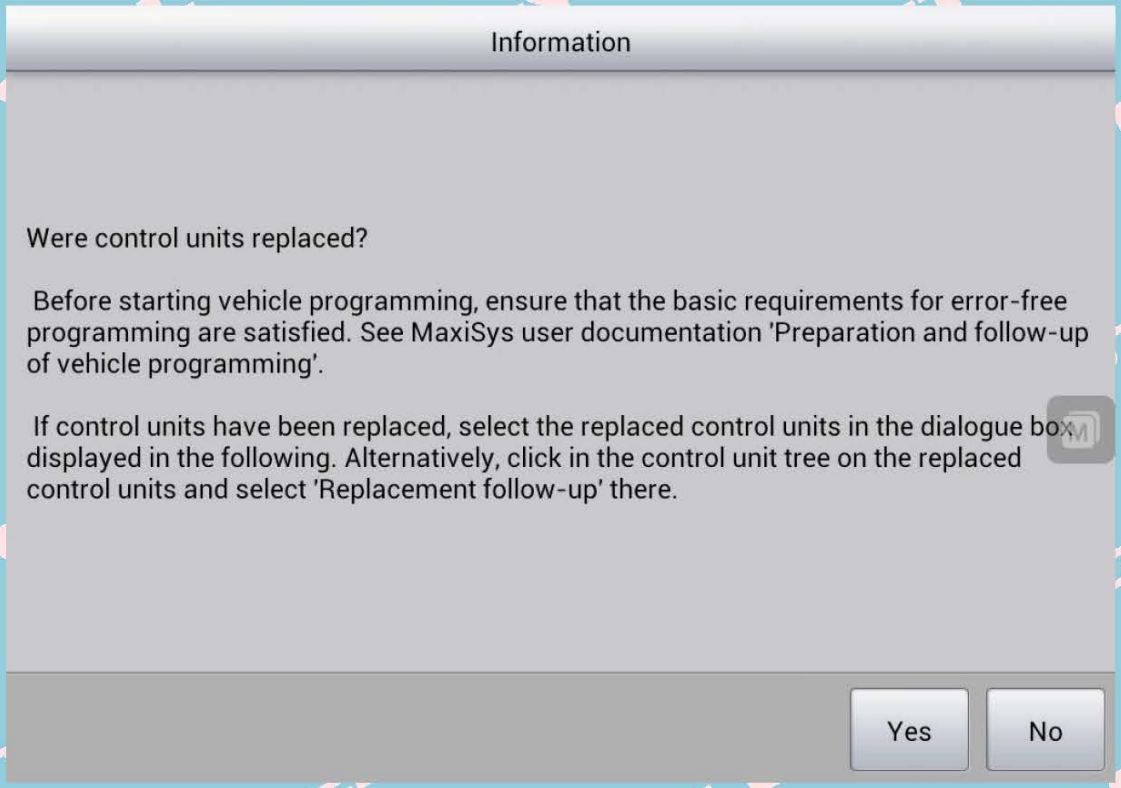


図2.6

MaxiSys Proは、すべての機能を実行した後、車両からインテグレーションレベル（Iレベル）を読み込みます。

統合レベルを車両から読み取ることができない場合は、図2.7に示すように手動入力が必要です。

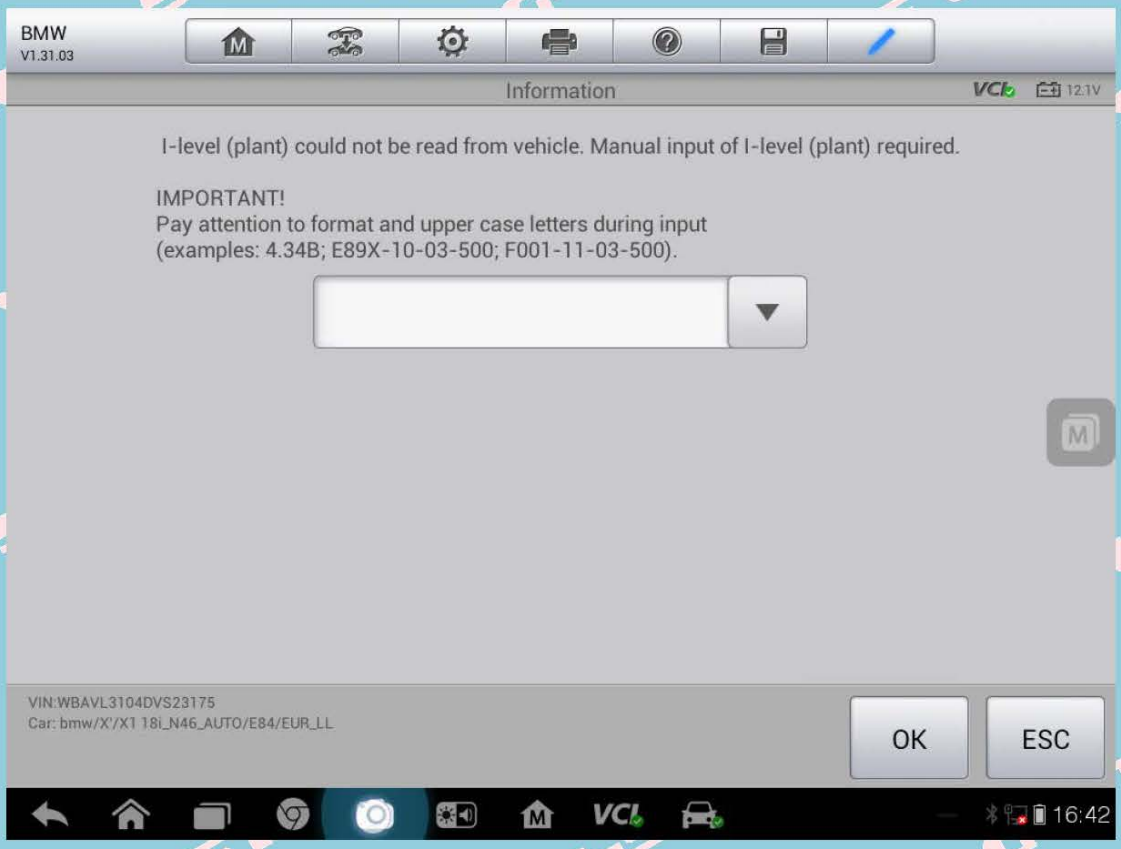


図2.7

車両統合レベルが非常に新しい場合、図2.8の次のメッセージは、 画面に表示されます。

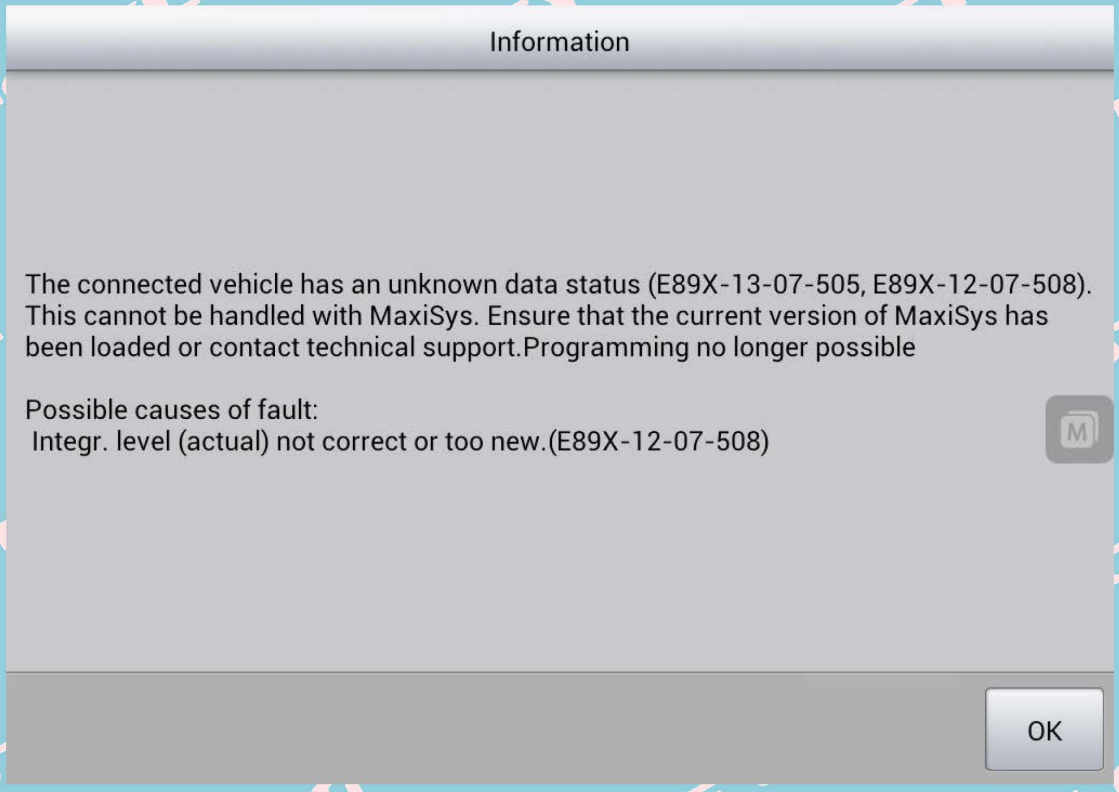


図2.8

これは、車両統合レベルがMaxiSys Proに保存されているものよりも新しいことを示しています。
また、プログラミング機能は推奨されていません。
MaxiSys Proは各制御ユニットから関連情報を読み込み、交換またはアップグレードが必要かどうかを確認します。
その後、CIPメインインターフェイスが表示されます。
詳細は、2.3 CIP Main Interfaceを参照してください。

2.2 CIPの再入力

以前にCIP機能が実行されていた場合、MaxiSys Proは設定情報を記録している前のセッションを保存することができます。
MaxiSys ProがCIPに再入力すると、図2.9に示すように、保存されたセッションを使用するかどうかを確認するプロンプトメッセージがポップアップ表示されます。

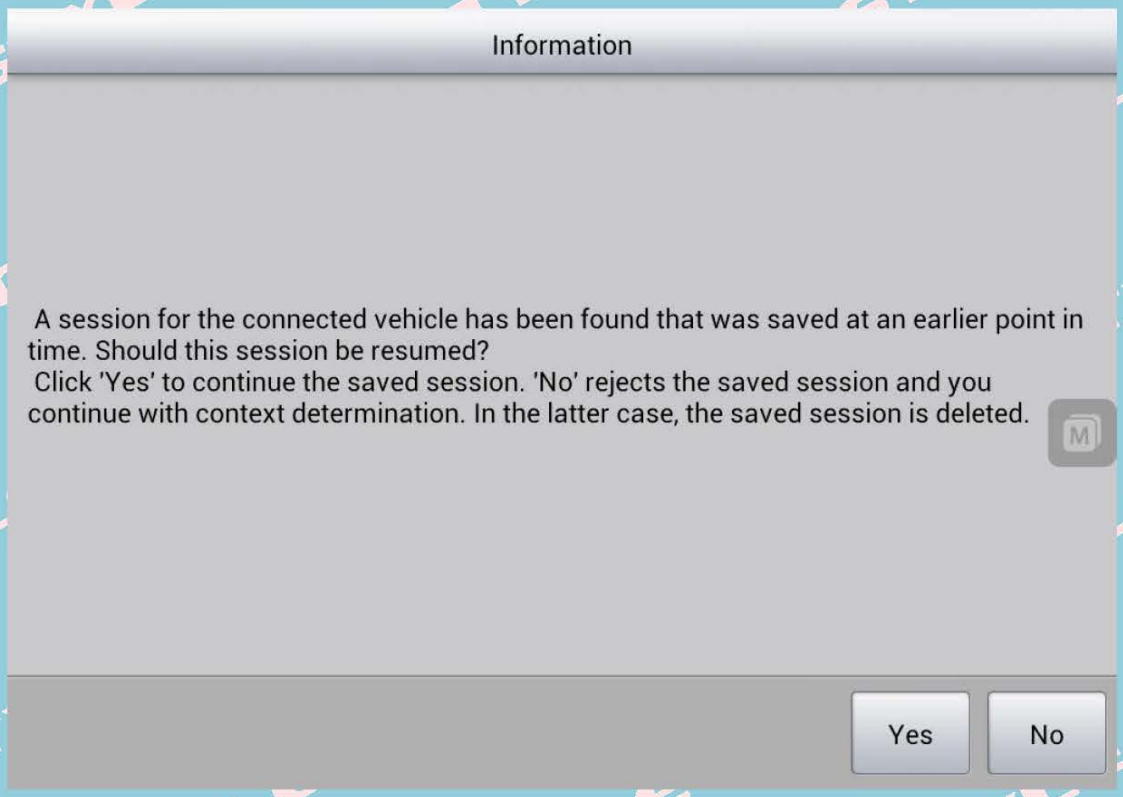


図 2.9

「はい」をタップすると、車両との通信を再確立せずに、保存したセッションを続行できます。

これにより、CIPへの高速アクセスが実現します。

「いいえ」をタップすると保存されたセッションが拒否され、MaxiSys Proは最初にCIPに入る手続きとして車両との通信を確立します。

詳細については、2.1 CIP入門を参照してください。

長い時間前に保存したセッションを使用しないことをお勧めします。

実際の情報は変更されている可能性があります。

MaxiSys Proは最大5台の車両セッションを保存するように設定されています。

図2.10に示すように、5つ以上のセッションがある場合は、不要なセッションを削除するよう促します。

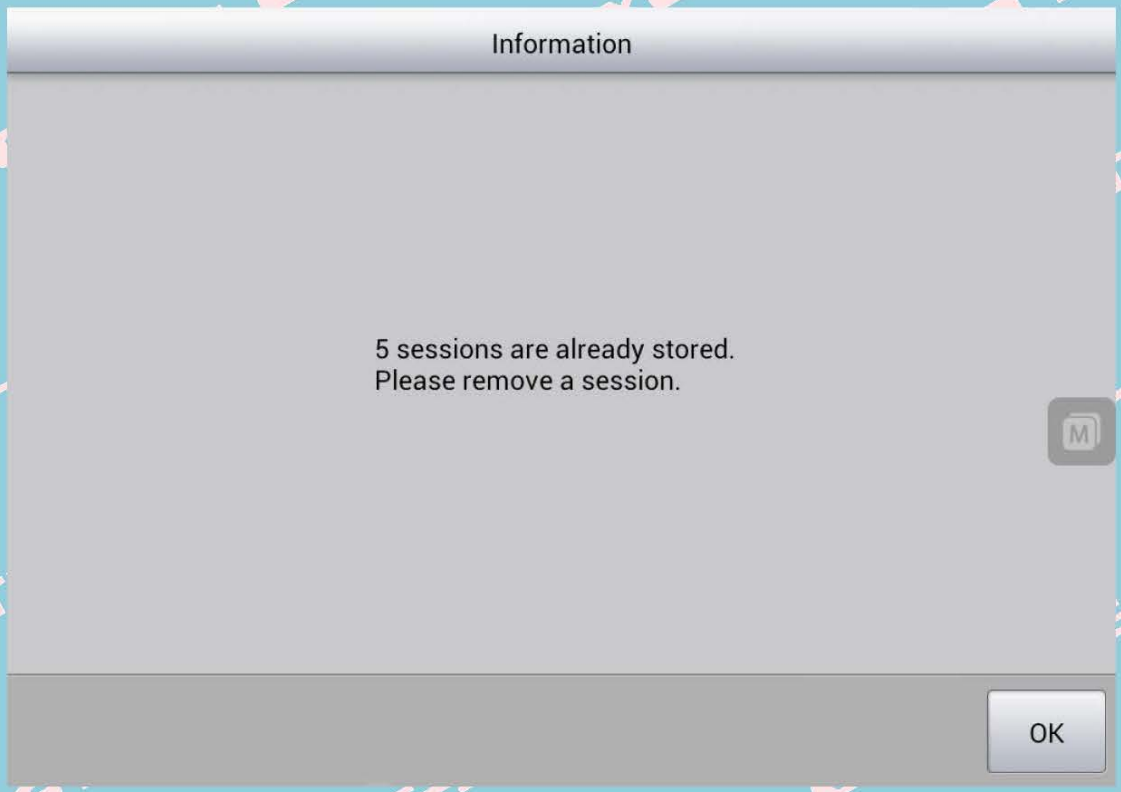


図2.10

「OK」をタップすると、車両記録のリストが表示されます。図2.11に示すように、削除するセッションを選択できます。

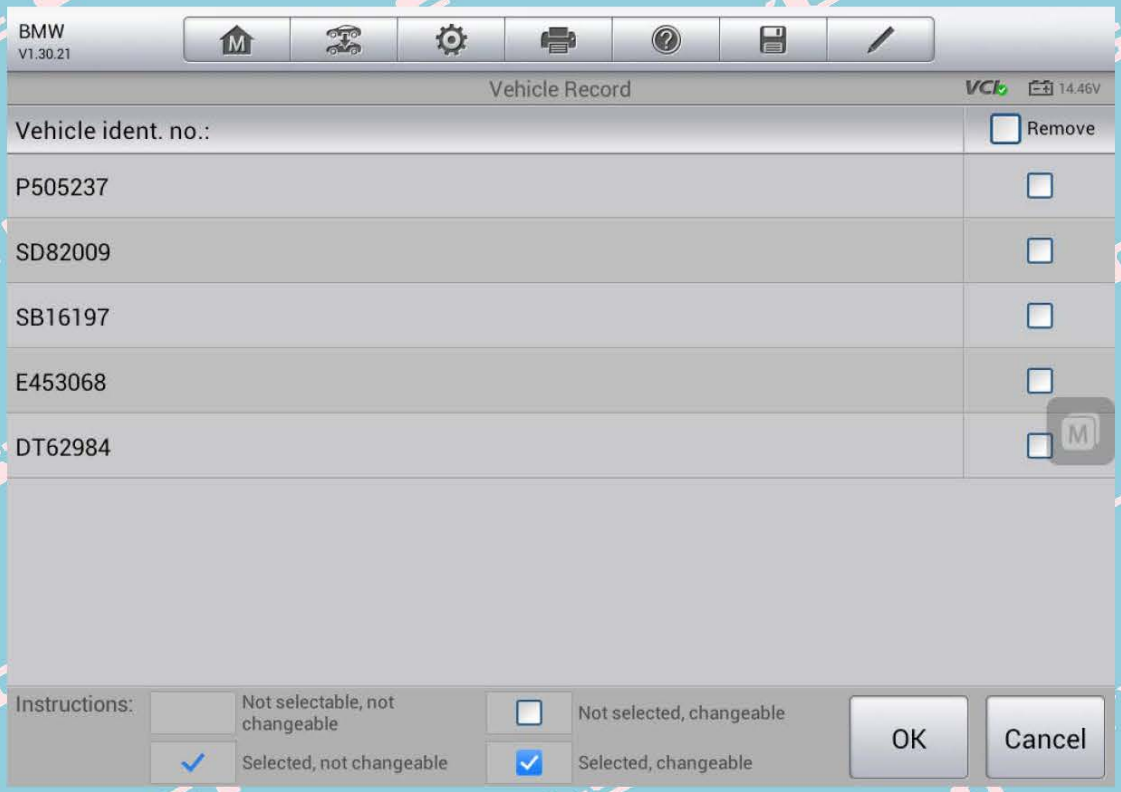


図2.11

削除するセッションを選択し、「OK」をタップします。 図2.12に示すように、以下のメッセージが画面に表示されます。

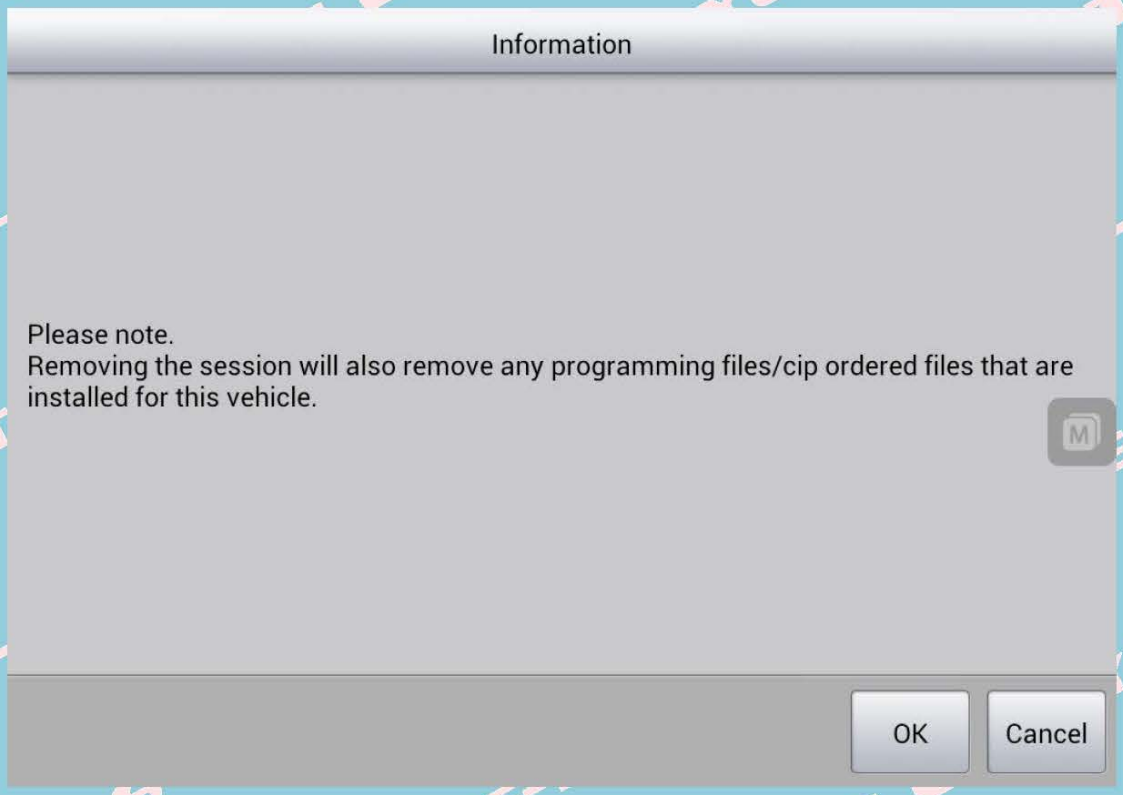


図2.12

[OK]をタップすると、選択したセッションが削除されます。 CIPを再入力する必要があります。

2.3 CIPメインインターフェイス

CIP Main Interfaceには、図2.13に示すように、通常、以下の項目が含まれています。

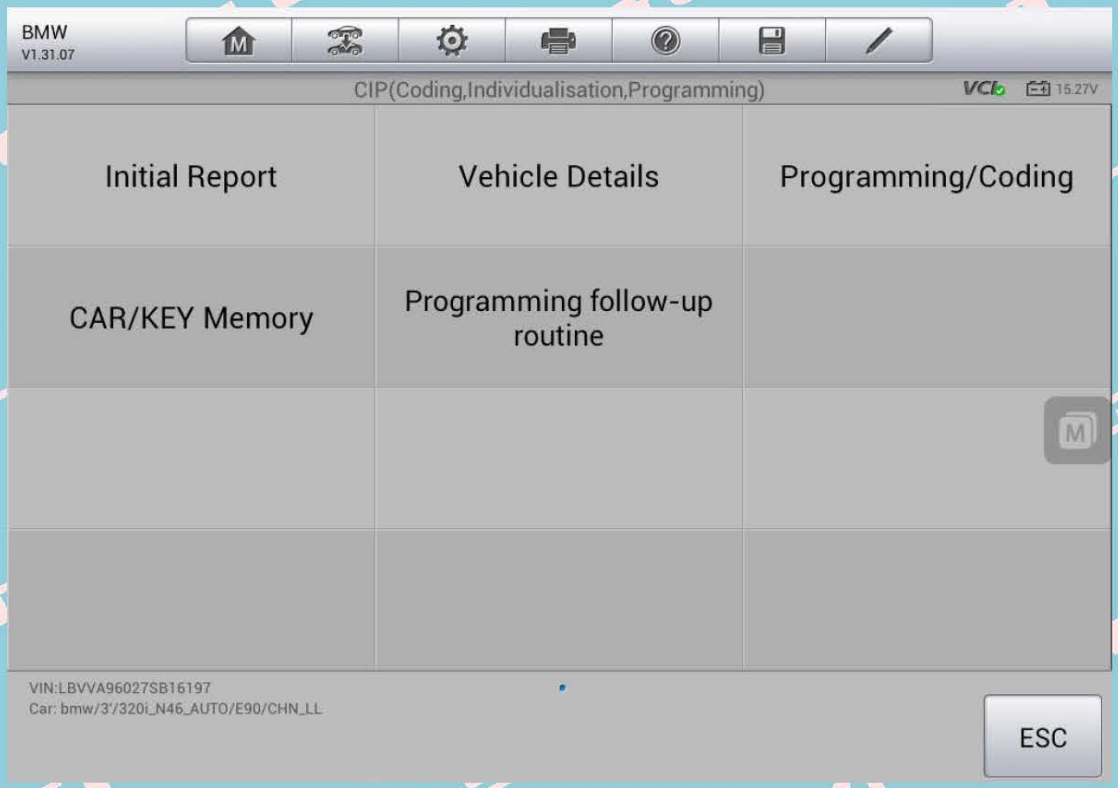


図2.13

- 初期レポート

  交換またはアップグレードするコントロールユニットの情報を表示します。

  推定アップグレード時間

- 車両の詳細

  車両構成情報を表示します。

- プログラミング/コーディング

  プログラミングとコーディングを行います。詳細は、「3.プログラミング/コーディング」を参照してください。

- CAR / KEYメモリ

  パーソナライズされた設定を実行します。

- **Programming Follow-up Routine**

  プログラミングとコーディングの後に実行される特別な関数のリストを表示します。

プログラミング/コーディング

プログラミング/コーディングインタフェースは、通常、図3.1に示すよう3に、以下の項目を含む。

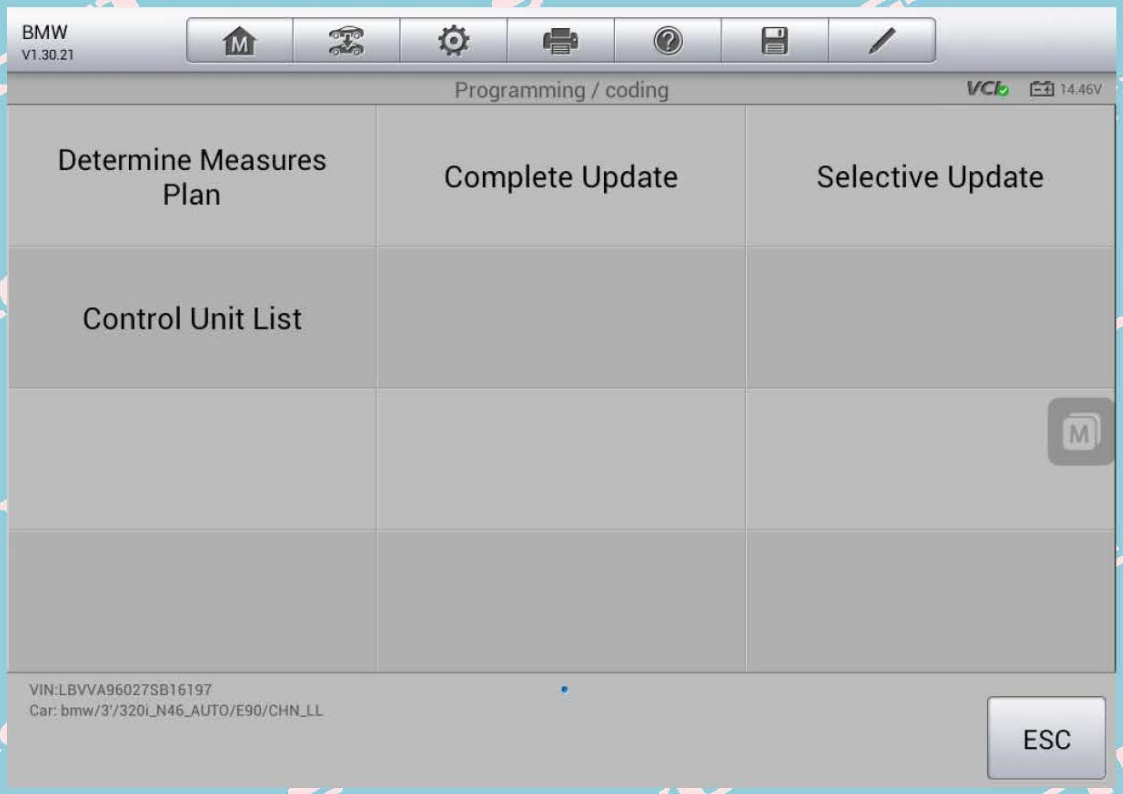


図3.1

- **Determine Measures Plan**

MaxiSys Proによって自動的に計算されたアップグレード計画を一覧表示します。

追加情報については、3.1対策計画の決定を参照してください。

- コンプリートアップデート

プログラミング/コーディングに使用できるすべてのECUは、デフォルトでチェックされます。 追加情報については、3.2完全更新を参照してください。

- セレクティブアップデート

プログラミング/コーディングを実行するECUを手動で選択します。

追加情報については3.3選択更新を参照してください。

- **Control Unit List**

すべてのコントロールユニットを表示し、特定のECUに対して診断、プログラミング、コーディング、および特殊機能を実行できます。 詳細は3.4制御ユニットリストを参照してください。

3.1 Determine Measures Plan

Measures Planは、MaxiSys Proによって設定された現在の車両のタスクリストを示します（図3.2参照）。

リストをスクロールして上下にスクロールすると、詳細情報が表示されます。

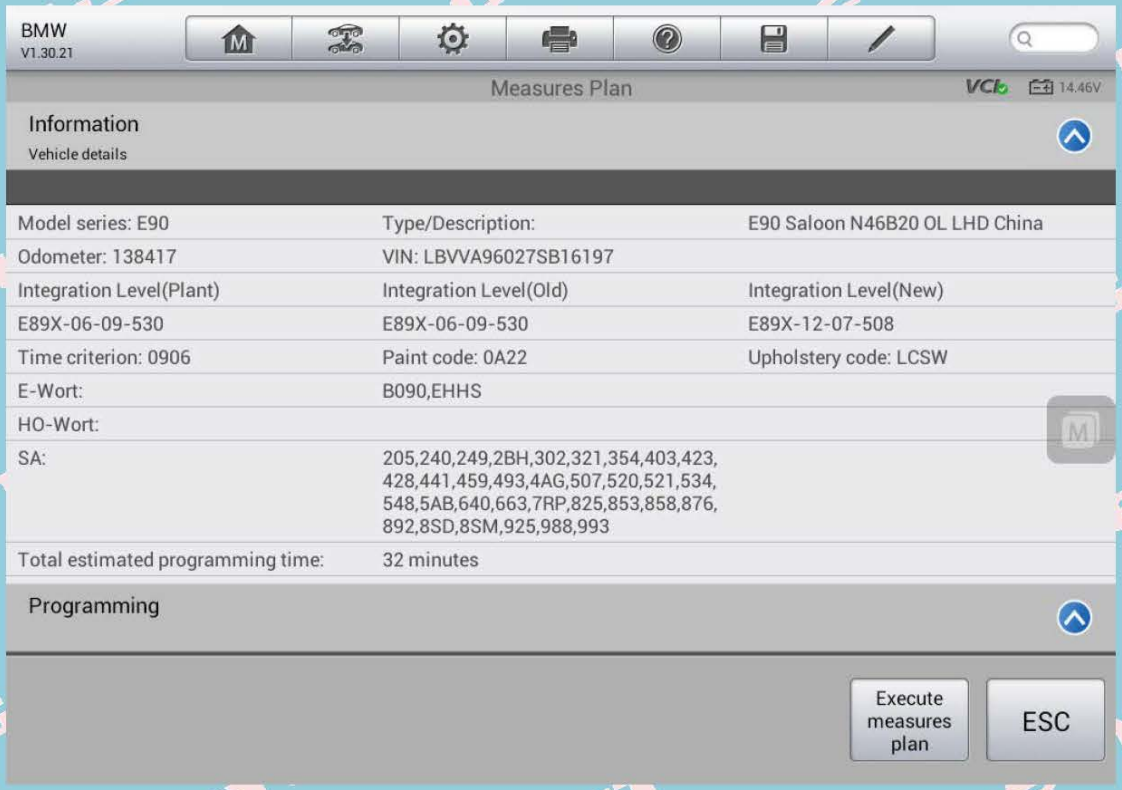


図3.2

「Execute measures plan」をタップすると、図3.3に示すように、エンジンの電源を切ってイグニッションをオンにするというメッセージが画面にポップアップします。

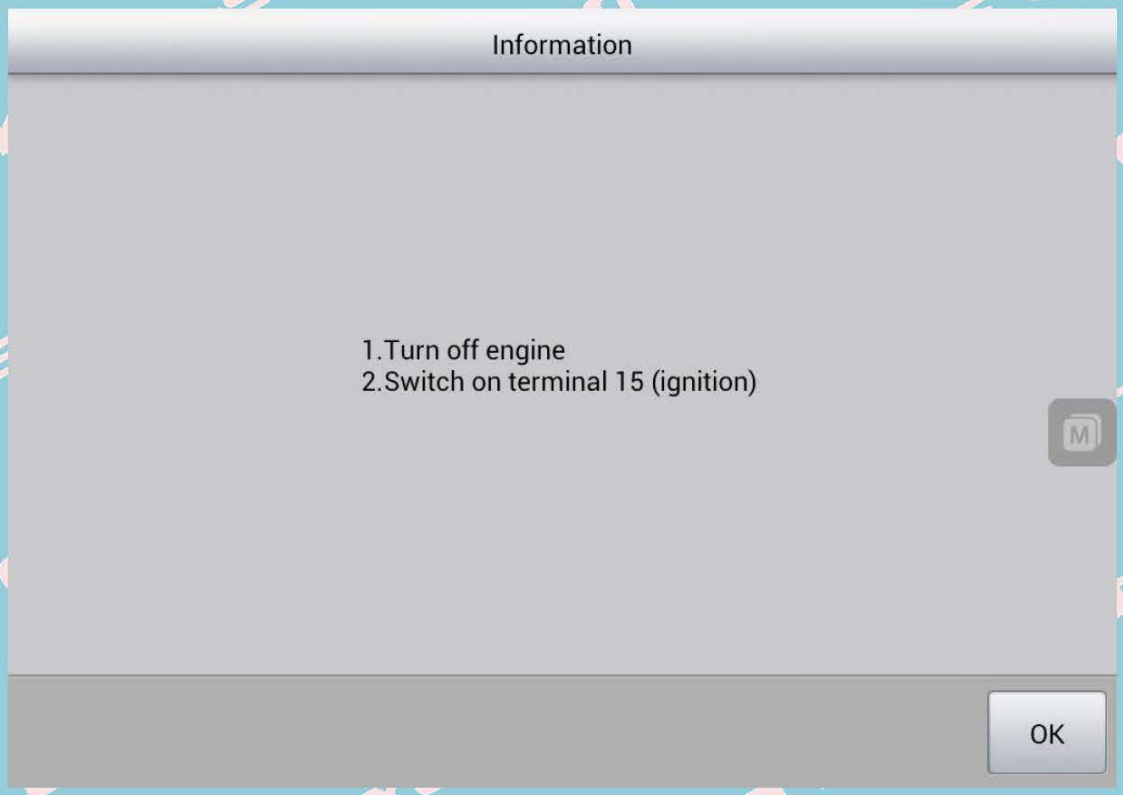


図3.3

エンジンが停止し、I/Gがオンになっていることを確認したら、「OK」をタップします。

設定ファイルをダウンロードするためにMaxiSys Proをインターネットに接続する必要がある場合、次のメッセージが表示されます。

図3.4

MaxiSysProを車両から取り外す（必須ではない）、MaxiSysProをインターネットに接続した場所に持ち込み、ネットワークが接続された後に「OK」をタップすると、MaxiSysProは図3.5のようにサーバーから設定ファイルをダウンロードできます。

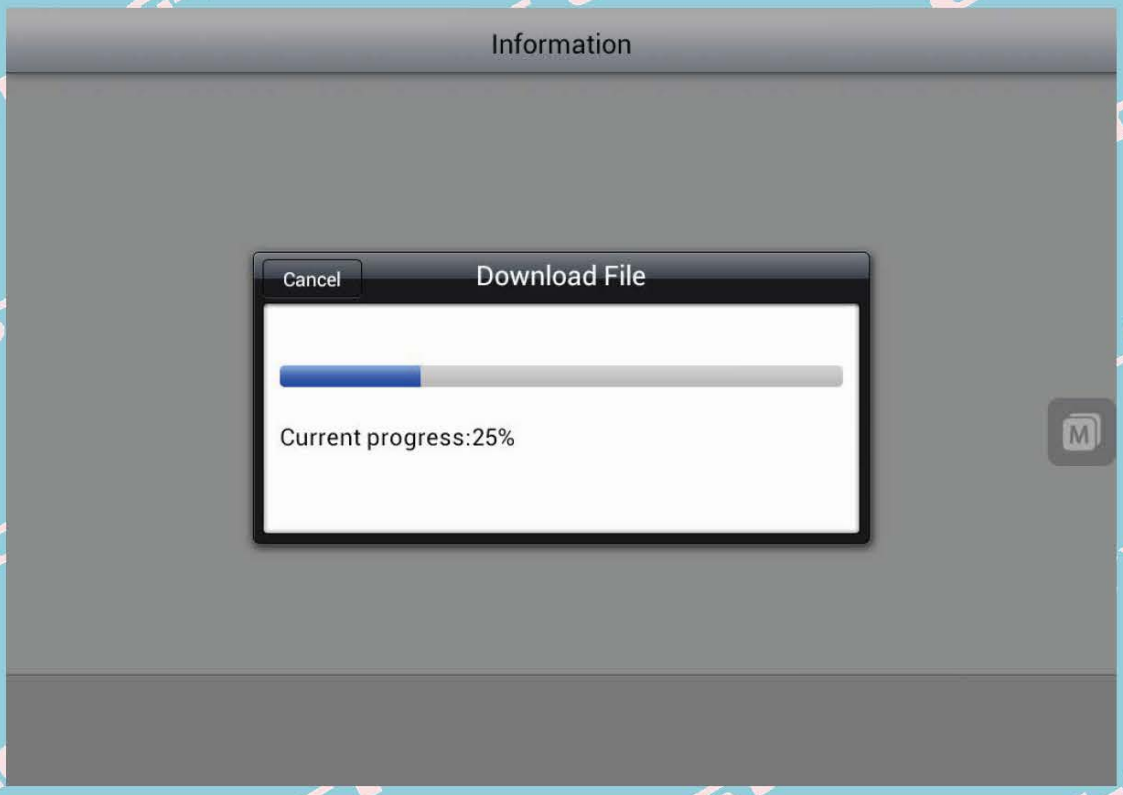


図3.5

ダウンロードが完了すると、次のメッセージが表示されます。

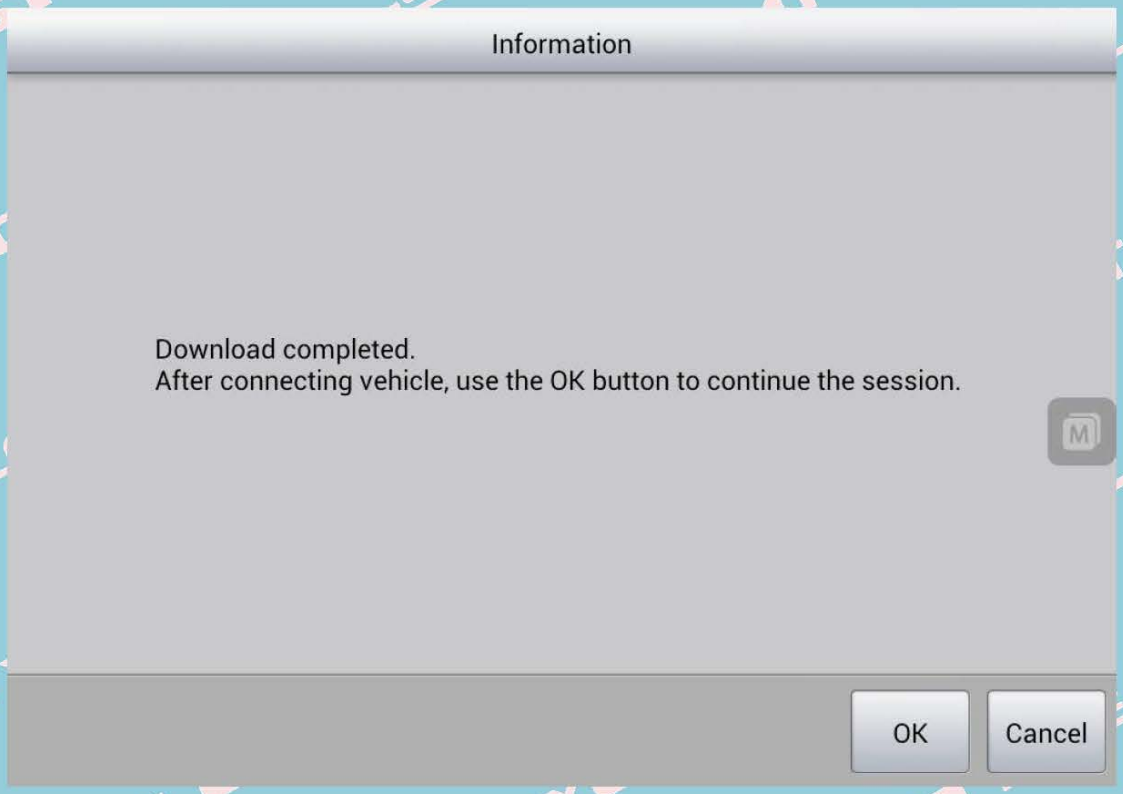


図3.6

MaxiSys Proが車両に接続されていることを確認してから、「OK」をタップして計画を実行してください。

プログラミングタスクがある場合、プログラミングのコントロールユニットは、図3.7と図3.8に示すように、進行状況をパーセンテージで表示します。

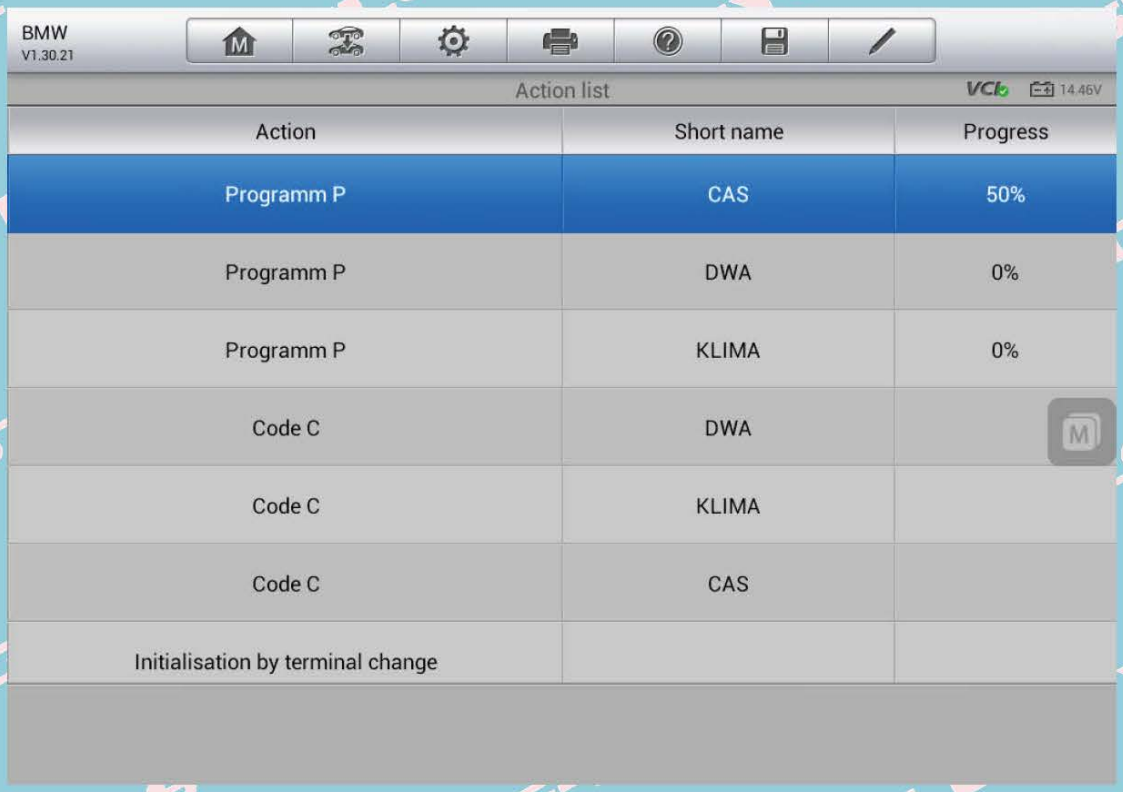


図3.7

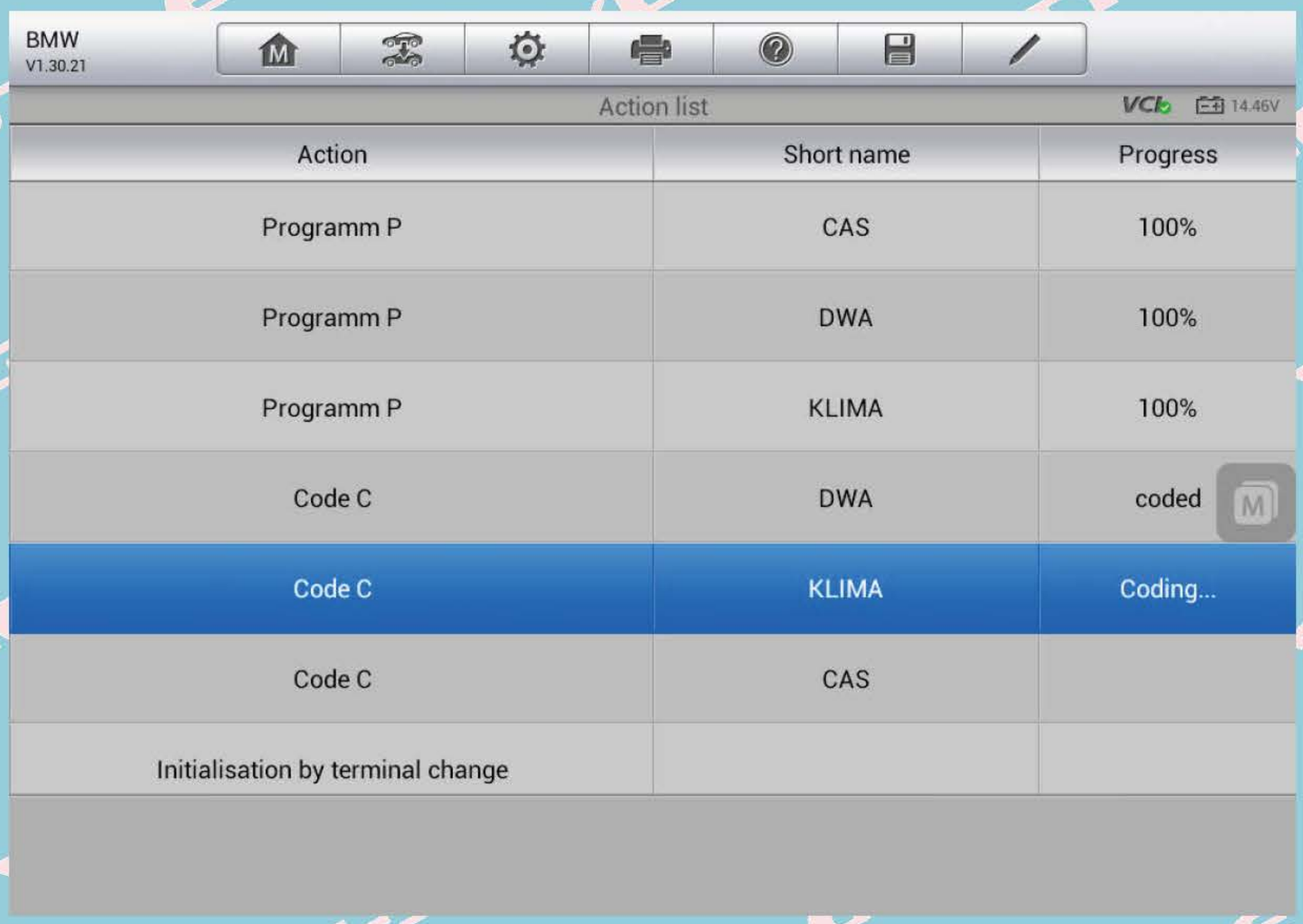


図3.8

図3.9に示すように、CASプログラミングを実行すると、イグニッションをオフにしてキースロットからキーを抜くというメッセージがポップアップ表示されます。

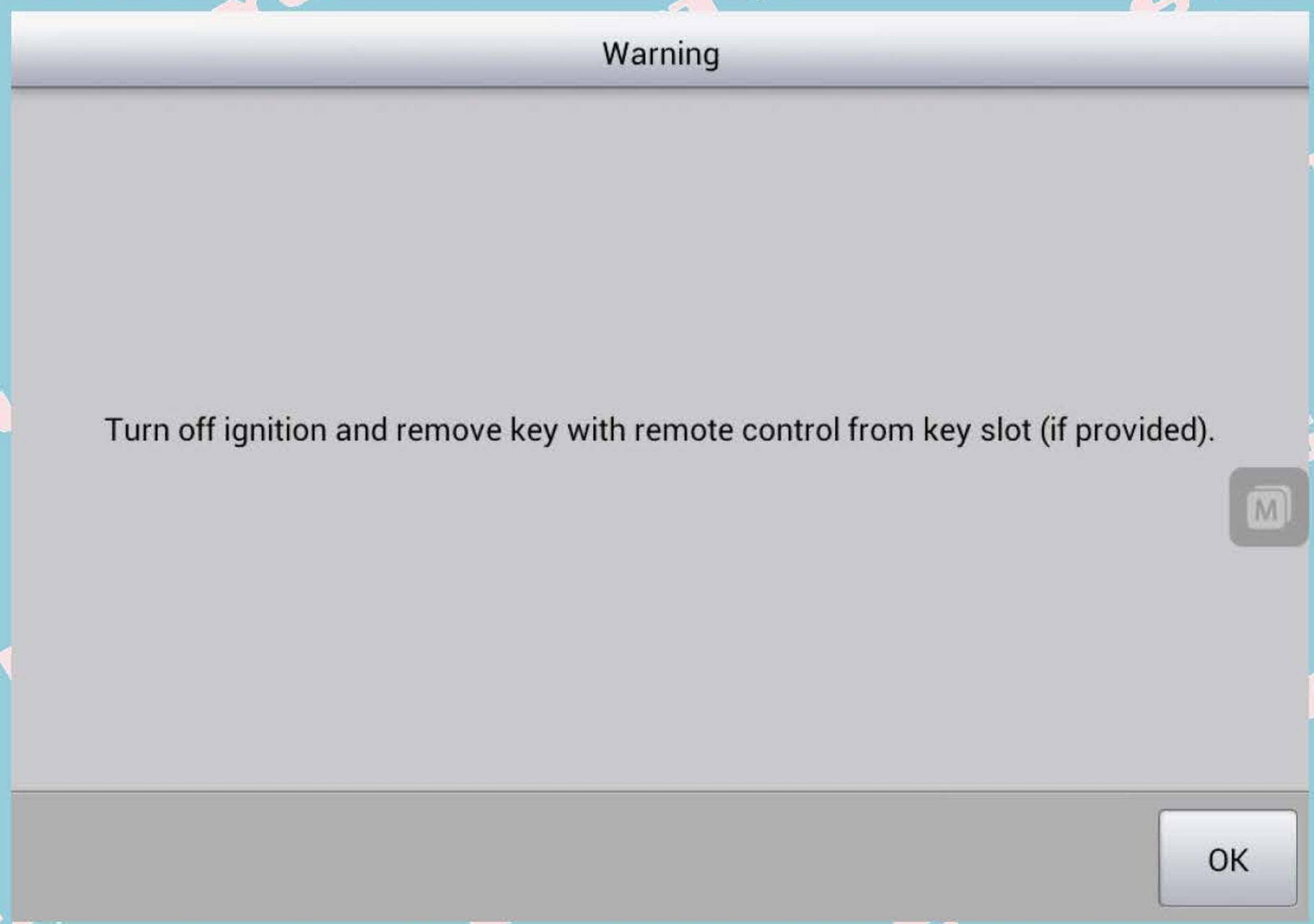


図3.9

イグニッションをオフにしてキーを取り外し、「OK」をタップしてCASプログラミングを開始します。CASプログラミングが完了したら、図3.10に示すように、イグニッションをオンにする必要があります。

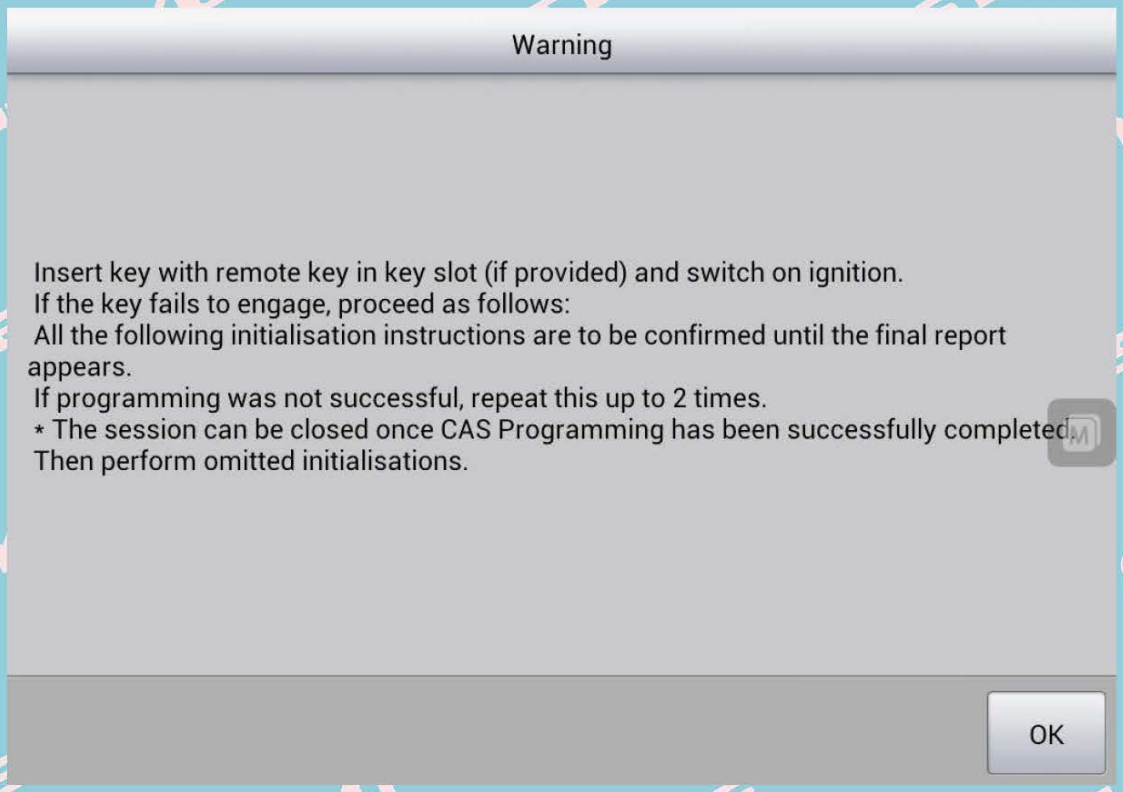


図3.10

I/GをONにして「OK」をタップしてCASプログラミングを完了します。

MaxiSys Proは計画を実行した後に最終報告書を作成します。図3.11、図3.12、および図3.13に示すように、指を上下にスイープしてリストをスクロールすると、詳細情報が表示されます。

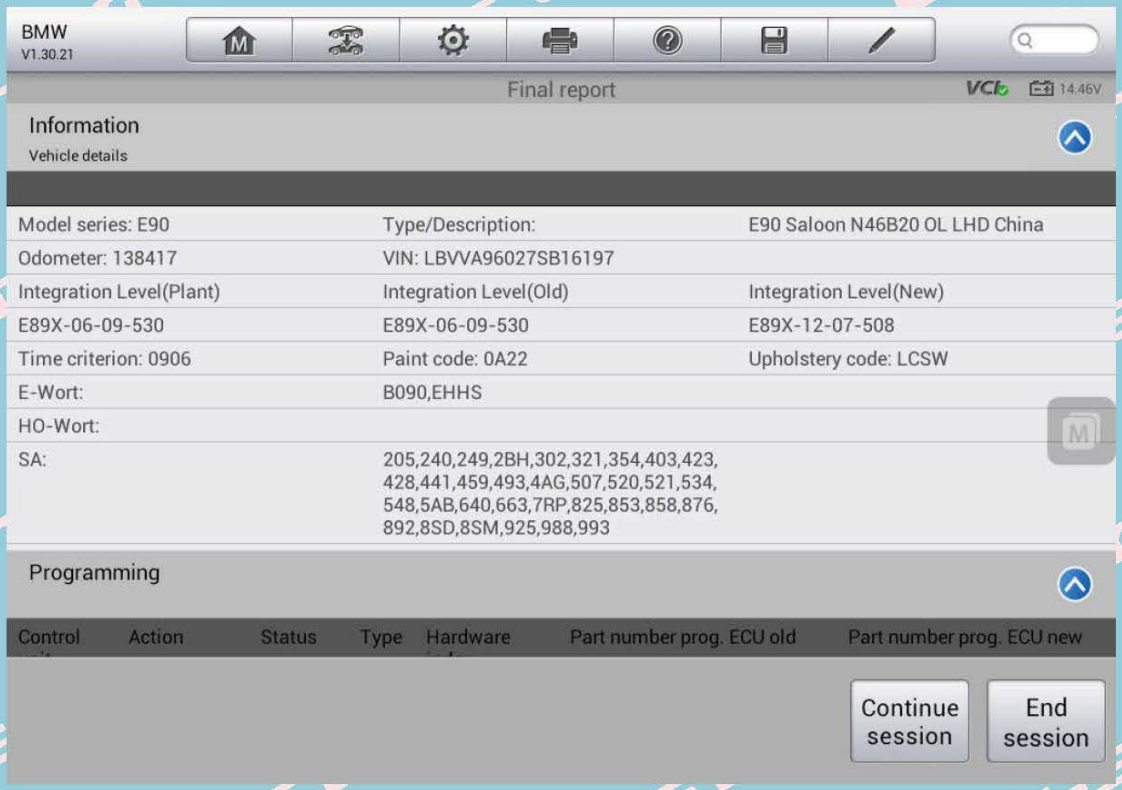
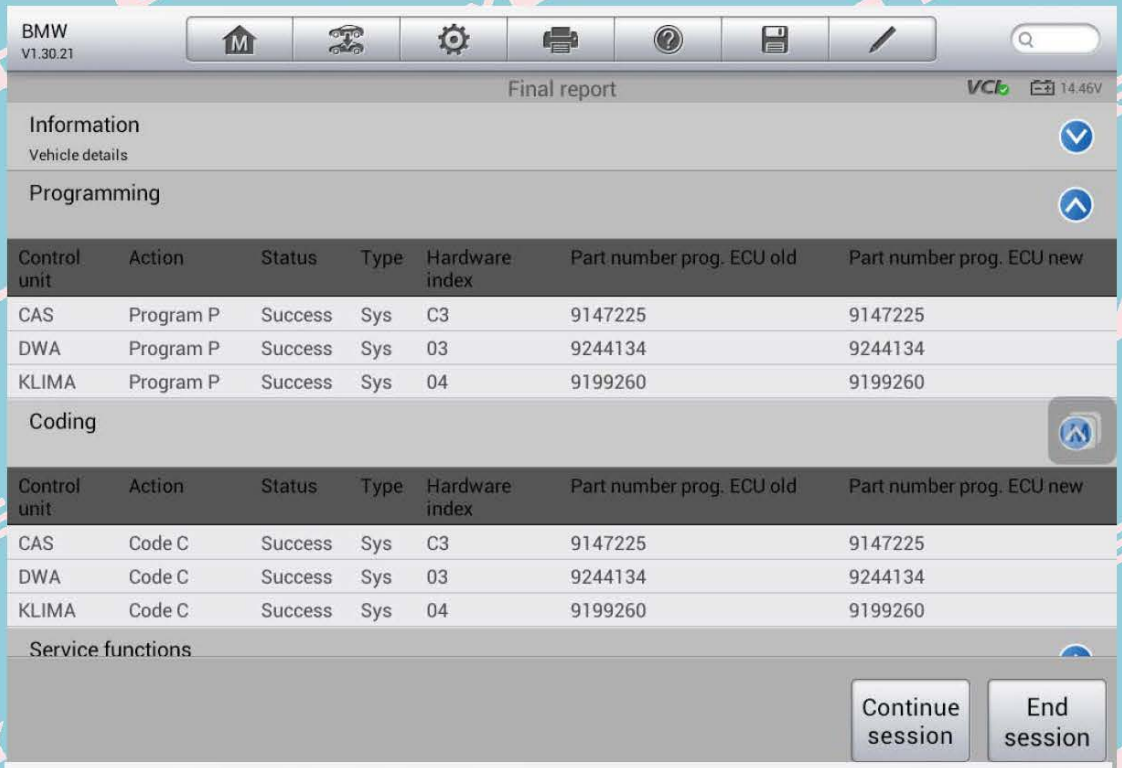


図3.11



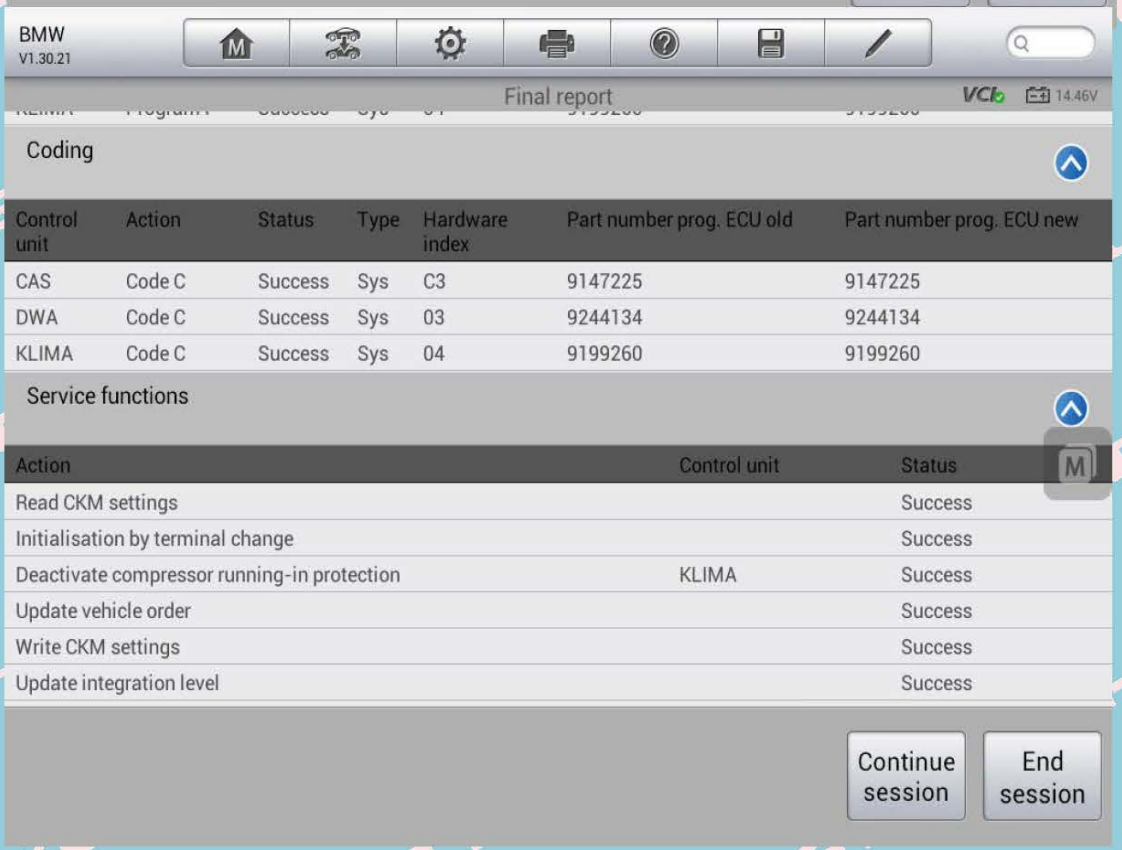


図3.13

計画を実行した後の情報は、単一のタスクのステータスを含むこのレポートで使用できます。これは[ステータス]列に表示されます。

[End session]をタップしてCIPを終了するか、[Continue session]をタップしてプログラミングを続行します。

「Continue session」をタップすると、MaxiSys Proは車両から設定情報を再度読み込み、各制御ユニットと通信します。

車の仕様に基づいて数分かかります。

3.2 コンプリートアップデート

完全な更新は、図3.14に示すように、制御ユニットのリストを表示します。

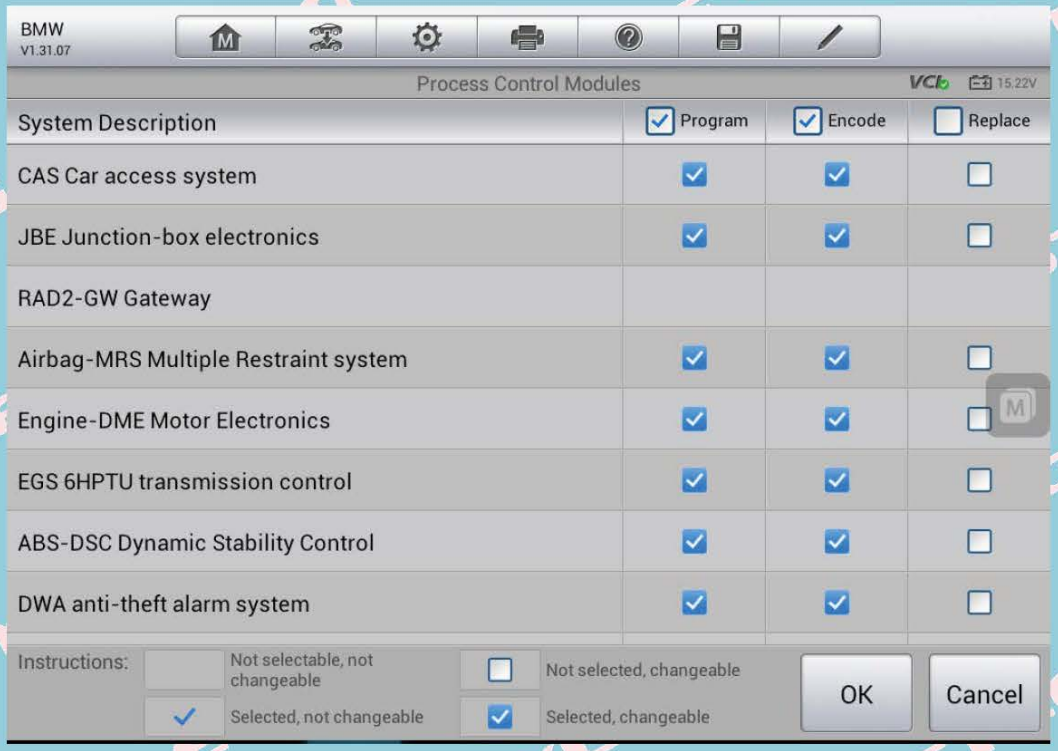


図3.14

プログラミングまたはコーディングに使用できるすべてのコントロールユニットは、デフォルトでチェックされます。

各コントロールユニットの対応する項目を手動で選択して変更することができます。

選択した制御ユニットをグループの一部としてプログラミングまたはコーディングする必要がある場合、図3.15に示すように、MaxiSys　Proは自動的に関連する制御ユニットを選択し、その名前を表示します。

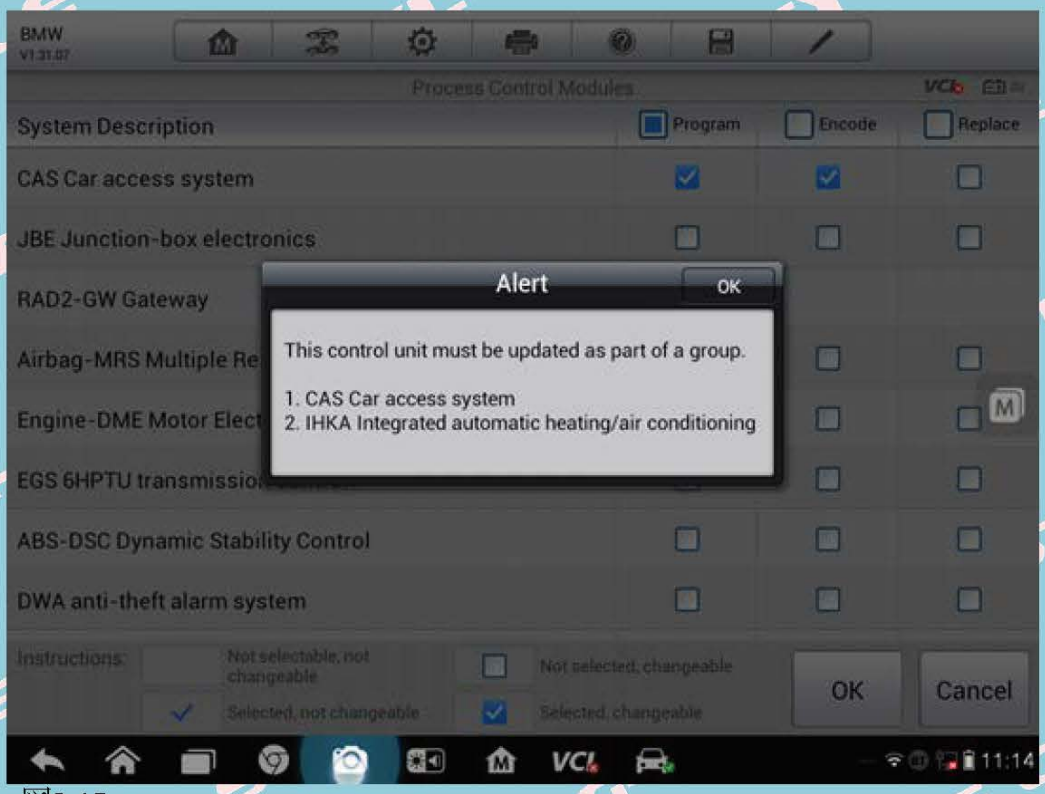


図3.15

いくつかの項目は選択できない場合があります。考えられる原因は以下のとおりです。
- 制御ユニットでプログラミングまたはコーディングを使用できない
- コントロールユニットにエラーがあるか、または交換が必要です

初期レポートを参照してください。

CIPメインインターフェイスの詳細情報

選択後に「OK」をタップすると、MaxiSys Proはプランを決定します。

追加情報については、3.1対策計画の決定を参照してください。

3.3 セレクティブアップデート

セレクティブアップデートの詳細については、3.2コンプリートアップデートを参照してください。

更新が必要なコントロールユニットのプログラミングおよびコード項目は、デフォルトで選択更新で選択されています。これはコンプリートアップデートとの違いです。

3.4 コントロールユニットリスト

コントロールユニットリストには、図3.16に示すように、すべてのコントロールユニットが表示されます。

指を左右に掃引してリストをスクロールすると、詳細情報が表示されます。

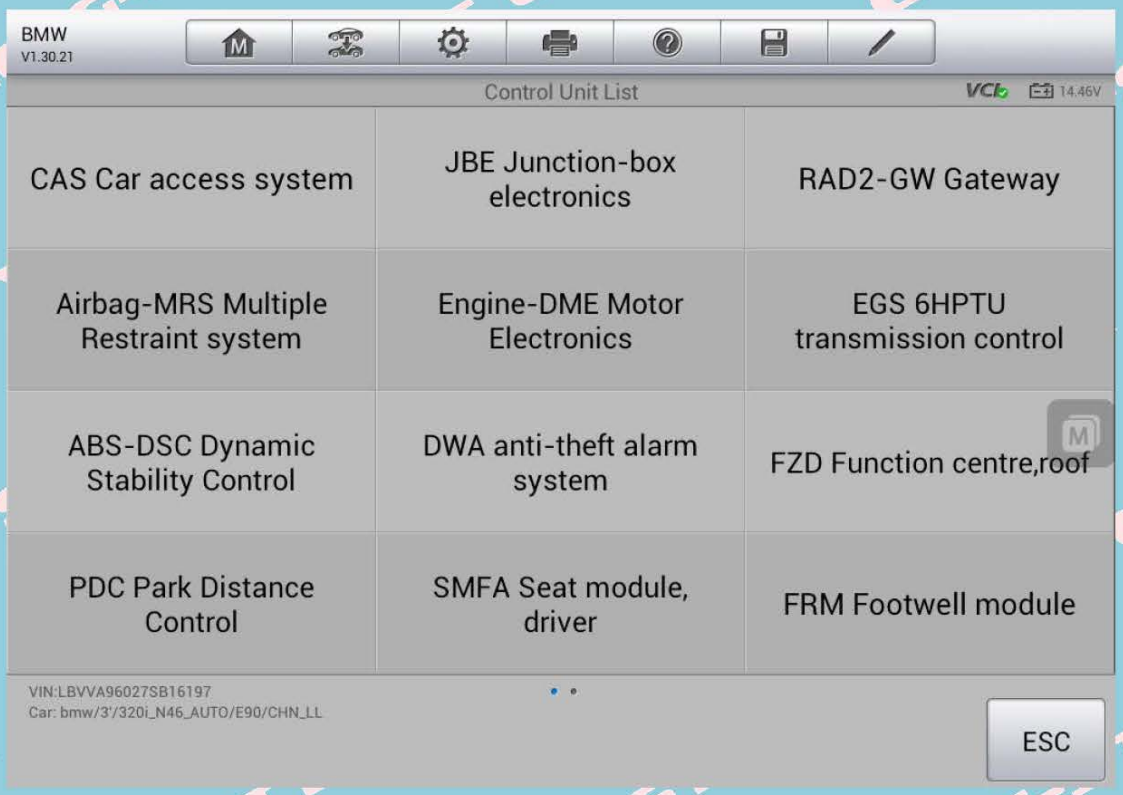


図3.16

対応するコントロールユニットをタップすると、診断情報、コントロールユニット情報、および最後のプログラミング情報が表示されます。
プログラミングまたはコーディングを実行する。
関連する特別な機能を実行することができます。

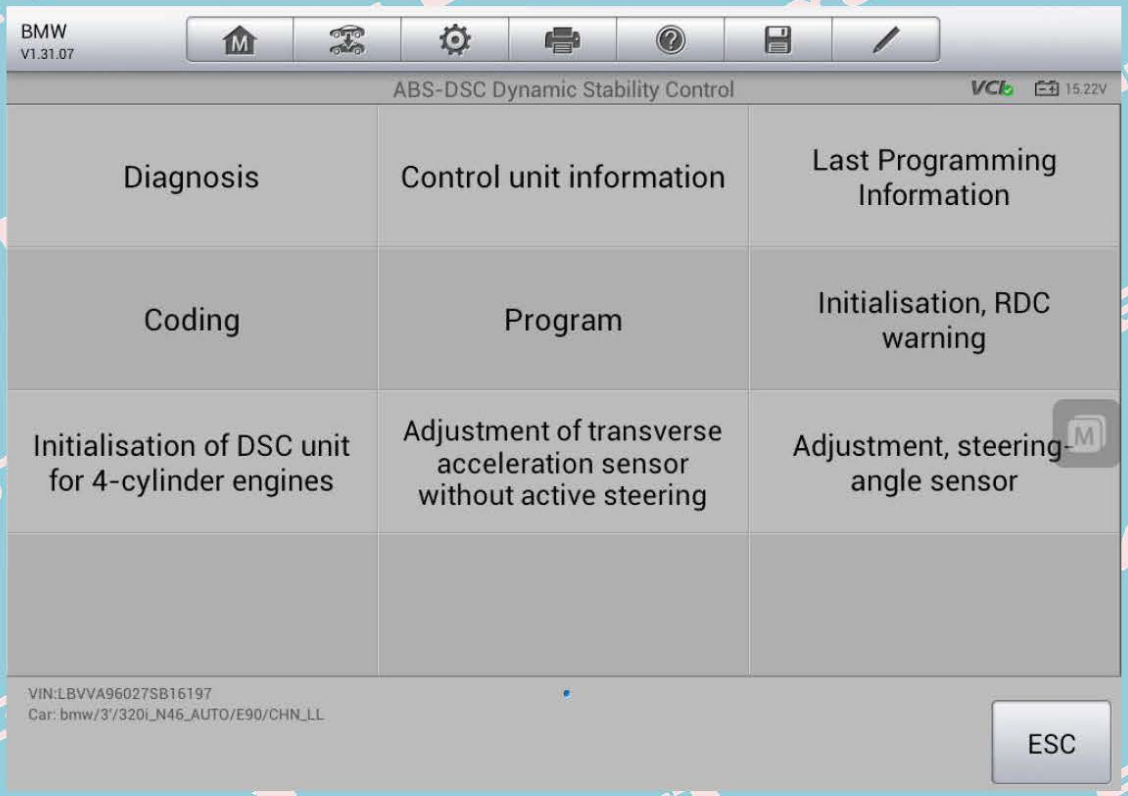


図3.17